

2021

# 三重教務所通信




発行人:三重教務所長 安田 雅  
〒511-0073 桑名市北寺町 47 教務所開所時間 平日 9:00~17:00  
☎:0594-21-8000 FAX:0594-21-8010

✉ 三重教務所 E-mail mie@higashihonganji.or.jp

桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス <http://mie-betsuin.com/>



## ○教務所長人事のお知らせ

このたび、下記のとおり発令されましたのでお知らせいたします。

氏名	前役職	発令	発令日
柘植 至	三重教務所長	願により役務を免ずる	2021年6月30日
安田 雅	岡崎教務所長	三重教務所長に任命する 桑名別院輪番の兼務を命ずる	

※ 柘植前所長は、2021年7月1日付で大谷大学事務局長に任命されました。

## ○テレホン法話冊子『心をひらく42』発刊について

2020年1月から12月までのテレホン法話を収録した法話冊子『心をひらく42』（社会教化小委員会担当）を発刊しました。

つきましては、当通信へ同封しますので、ぜひお目通しください。  
なお、教務所において1冊200円にて頒布していますので、寺院や組の行事などでご活用ください。

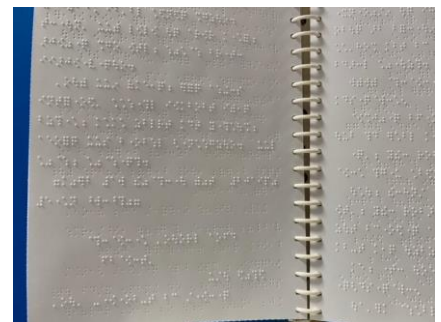


## ○テレホン法話点訳本の貸し出しについて

上記のテレホン法話冊子について、毎回「東員点訳友の会」様より点訳いただき、その点訳本を教務所へ寄贈いただいています。

この点訳については、視覚障碍者のご門徒さんから依頼されたのがきっかけで、長年点訳を行っていただいているそうです。

つきましては、この点訳本は教務所で貸し出しを行っていますので、是非ご利用くださいますようお願いいたします。



## 教務所の事務休暇についてのお知らせ

2021年8月11日（水）～16日（月）を夏季休暇とさせていただきます。

緊急連絡先 桑名別院 Tel (0594) 22 - 0652

## ○視聴覚教材(絵本等)及び青少幼年教材の貸し出しについて

三重教務所では、絵本・紙芝居の貸し出しを行っています。

また、「巨大ジェンガ」、「ペットボトルボーリング」、「缶バッジマシーン」、「紙芝居」などの青少幼年教材を無料で貸し出してまいりますので、ご希望の方はお問合せください。

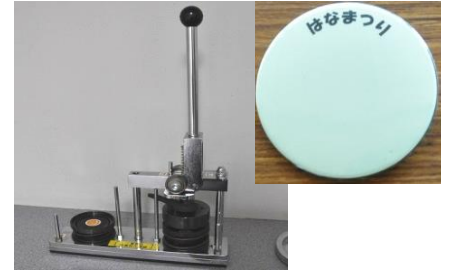
夏休みのお勤め練習、子ども会等でぜひご活用ください。



巨大ジェンガ



ペットボトルボーリング



缶バッジマシーン

## ○桑名別院・三重教区ホームページについて

桑名別院・三重教区ホームページには、最新の情報を掲載していますので、是非ご活用ください。なお、「寺院用ページ」から、本山並びに教務所へ提出する書類をダウンロード出来ますので、併せてご活用ください。

また、『三重教務所通信』や教区行事予定(数ヵ月掲載)など、自由に閲覧できますので、こちらもご利用ください。

### 【住職】

南勢1組 空釋寺

逢坂 勝彦 (2021年5月28日就任)

### 【得度】

中勢1組 傳善寺

岡田 笙 (2021年5月5日受式)

南勢1組 常照寺

米澤 沙羅 (2021年5月5日受式)

### 【敬弔】

長島組 崇泉寺

坊守

山代 美智尾

(2021年6月3日寂)

## ○テレホン法話のご案内

7月 1日～15日 …藤崎 周子 氏 (長島組 浄福寺坊守)

7月16日～31日 …芝田 正次 氏 (三重組 正樂寺門徒)

心をひらく 24時間 いつでも どこでも テレホン法話 ☎ (0594) 23-6191

### ○ 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に係る企画要員会議

- ・ 6月9日に作業部会を開催した。協議事項は、今後検討すべき課題、具体的な検討課題について。教区お待ち受け大会については、2022年度（本山の慶讃法要の2023年3月まで）の開催予定だが、計画を策定するにあたり、どのような問題があるのか、また、準備する内容などについて協議された。次回は7月2日（金）午後2時から開催する予定。

### ○ 教化推進総務会

- ・ 6月15日に会議を開催した。後述の教区教化委員会（総会）に提出する案件（上記記載）について協議した。また、今年度においてはコロナ下の為、オンライン会議の環境を整備し行ってきたが、その会議に出席した際に何らかの手当が必要ではないかとの意見を受け、教務所で行う諸会議において日当を予算化できるか協議されたが、教区御依頼減少に伴う教区への交付金が減少している中、現状では新たな予算を捻出することが難しいので、この件については次年度において継続して協議を行う。同じく今年度はコロナ下によりオンラインでの研修会が多く行われたが、次年度の教化研修計画を策定するにあたり、現在指定している「教師陞補対象研修会」について、オンラインでの受講の可否について協議された。今年度、対象研修であった「聖典基礎講座」は2回オンラインでの研修を行ったが、次年度、教師陞補をされる方が対象研修会を受講する場合は、会場に来ていただき受講いただくようにそれぞれ計画するよう確認された。

### ○ 特伝推進本部

- ・ 6月7日臨時本部会議、6月16日月例会議を共にオンラインで開催。2020年度事業報告、2021年度事業計画を継続して検討した。①総務会への要望事項として(i)諸団体への助成金の見直しについては被助成団体の収支報告の公開が条件であること。(ii)「教区合同協議会」の参加対象者、開催形態、回数の見直しが必要であることの2点を確認。②4月12日開催「教区合同協議会」での特伝に関する意見、批判を整理し、次年度への継続検討事項を確認。③第11次特伝南勢2組1、2部の第4ブロックへの編入④特伝懇談会実施に向けた準備⑤第12次特伝実施他について事業計画を協議した。

### ○ 寺族門徒研修小委員会

- ・ 6月8日に住職・坊守追弔会を開催した。昨年度は、第1回目の緊急事態宣言が発出されていた関係で、対象寺院のご案内は行わず職員による内勤めとして行ったが、今年度は従来お勤め後に開催していたお斎を行わないなどの対応をする中、感染対策を十分行い開催した。なお、今回の対象寺院は16カ寺で、当日は4カ寺の遺族が参拝した。





## ○ 青少幼年教化小委員会

- ・ 6月2日に三重同朋会館で会議を行った。1名オンラインでの参加だったので机を囲むように置き換え、工夫した。▽総務会を含めた教区の報告を行った中、4月14日に開催された教区合同会議での意見としては、全体の話はどうしても特伝の話が優先されるため、次回以降は質問等を事前に応える形にしたり、定期的に協議会を開催し、各団体の協議もできるよう大切な時間にしたいという意見をいただいた。▽今年度事業報告と次年度事業計画の確認や、青少幼年各団体の報告を行った。▽寺族・門徒研修小委員会幹事の大賀氏に出席いただき、帰敬式実践運動について座談会を行った。実践が執行・奨励運動としてとらえてしまうとの意見に、帰敬式を行う事を意識するのではなく、共に手を合わせ、教えを聞くことが実践運動であるということを確認したが、ではなぜ帰敬式実践運動という名前にまでなっていて、さらには全国に呼びかけられているのかは、もっと時間をいただき確かめていかなければならないのではないかという課題が残った。次回は7月29日（木）14時より三重同朋会館にて行う。

## ○ 教化委員会(総会)

- ・ 6月24日に会議を桑名別院本堂で開催した。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、意思表示書提出による書面決議として行ったが、顔の見えるところで意見を述べる場が欲しいとの要望を受け、今年度は感染対策を十分に行い開催した。協議内容は、2020年度教区教化事業報告及び2021年度教区教化事業計画。また、今夏の教区会及び教区門徒会へ提出予定の「三重教区帰敬式実践運動推進計画」について協議・確認された。



## ○ 教学研究室

- ・ 5月27日課題別学習会として「『是旃陀羅』問題に関する公開学習会—第2回」を前回は引き続き、鶴見 晃同朋大学教授を迎えて開催した。(オンライン配信 38名参加) 講義の中で「親鸞聖人の在世時代では、中国から旃陀羅＝屠者＝悪人という等式で仏典の中では説かれています。涅槃経、法華経にも旃陀羅という言葉は出てまいります。その中で聖人は「屠者」の存在は類的人間の本質を表す存在であって、私たちは一様に「具縛の凡愚、屠沽の下類（『唯信鈔文意』）」として同じ存在であるという視座を持っておられた。ただし『観経』和讃や『観無量寿経集註』で聖人が何を確かめようとしているのかは、はっきりとは判りません。しかし聖人が善導大師の「旃陀羅解」に注目し、引用していることは丁寧に考えていく必要があると思います。旃陀羅、屠沽、悪人と呼ばれる被差別者の存在は人間の中の一部ではなく「群生海」「衆生海」「海一味」として見る視点をお持ちだったと考えられるからです」と語られた。
- ・ 5月31日「聖典基礎講座」を開催（オンライン配信 34名参加）。善導大師の3回目にあたり、講師の高柳正裕氏は『往生礼讃』を紹介される中で「善導大師も法然上人も「抑止文」（「唯除五逆、誹謗正法」の文）を取り上げておられません。何故親鸞聖人は

「唯除」の文がカギになると思われたのか。それは阿闍世の「回心」と深く関わっています。「念仏して回心すれば五逆と十悪も謗法・闡提も救われる、往生できる」という発想ではなく、むしろ絶対に自分は救われないという「存在」の発見が「回心」です。ここが一番のポイントです。「念仏したら往生できる。回心したら往生できる」と、どこかで自分の中に「善」なるものを見ている。ここが親鸞聖人が『往生礼讃』に見られた大きなカギになってきます」と話された。今回は9月7日。

- ・ 6月10日に第8回月例会をオンライン配信で開催。研究員13名が参加。藤嶽室長は法然上人の『選択集』「教相章」から「道綽禅師は断惑証理、聖者となって覚りの果を得る「聖道門」と、娑婆世界において修行によって菩薩、仏に成ることのできない凡夫のための「浄土門」と、仏教を二つに提示されます。法然上人はそのことを踏まえて「浄土門」をさらに「往生浄土門」とし、この自分（一人の苦悩する人間）が浄土の教えによって往生人と成る。そのことを教える「正しく往生浄土を明すの教え」として「浄土三部経」と天親の「浄土論」を挙げられます。『観経』の「化前序」は、釈尊が耆闍崛山上において声聞衆に「聖道門」の教えを説かれている部分です。善導大師は、王舎大城内における家庭崩壊の中で説かれる「往生浄土の教え」に先立って、「化前序」（聖道門の教え）を背景に持ちながら、救いに預かることのできない「煩惱具足の凡夫」を救う教えとして『観経』を押さえます。とても大事な善導大師の着眼が『観経』「化前序」に示されています」と、講義の中で語られた。次回月例会は9月16日。

## ○ 教区坊守会

- ・ 6月2日の若坊守研修会は、愛知県の緊急事態宣言延長及び三重県のまん延防止等重点措置延長の為、来年4月25日に延期した。
- ・ 6月10日に「委員会に向けて」及び『坊守会だより』について」の打ち合わせをするため臨時役員会を開催した。『坊守会だより』については、コロナ禍で研修会が中止や延期となっていることから、2021年度及び2022年度については、年1回の発行（6月頃発行）とすることに決定した。
- ・ 6月22日に委員会を開催し、7月の総会は書面決議とすることや変更事項等の報告をした。さらに2021年度の研修会の担当を決めた。
- ・ 次回は6月29日（火）に総会の資料作り、7月13日（火）に役員会を開催予定。

## 今月の法語

真宗念仏を聞くとは、  
如来の心を身に実証する人生を  
獲得することにほかならない

『みほとけ 仏 みな の名のもとに』(東本願寺出版部発行) 解説文より



日	曜	行事内容
1	木	
2	金	慶讃法要に係る企画要員会議(第2回作業部会)14:00-
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	内務委員会 14:00-
9	金	合唱団「ひかり」総会及び練習 11:00-
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	坊守会役員会 10:00-
14	水	教区会参事会 13:30-
15	木	教区門徒会常任委員会 13:30-
16	金	
17	土	} 桑名別院暁天講座(～21日)【インターネット配信】
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	教区門徒会(通常会)13:30-【予定】
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	大谷保育協会教区研修会 9:00-
26	月	特伝本部会議 13:30-
27	火	花まつり実行委員会 14:00-
28	水	
29	木	青少幼年教化小委員会 14:00-
30	金	正副組長会 14:00-
31	土	

① 別院行事案内(A3版:本堂等掲示用。A4版:組門徒会員配布用。) ②テレホン法話冊子『心をひらく42』 ③青少幼年だより ④中高生の集いチラシ ⑤ 坊守講座年間予定ご案内 ⑥ 第1回坊守講座チラシ ⑦仏青だより ⑧桑名別院暁天講座ポスター&チラシ ⑨「同朋ジュニア大会」開催案内 ⑩子ども会開設サポート企画要員会議質問用紙